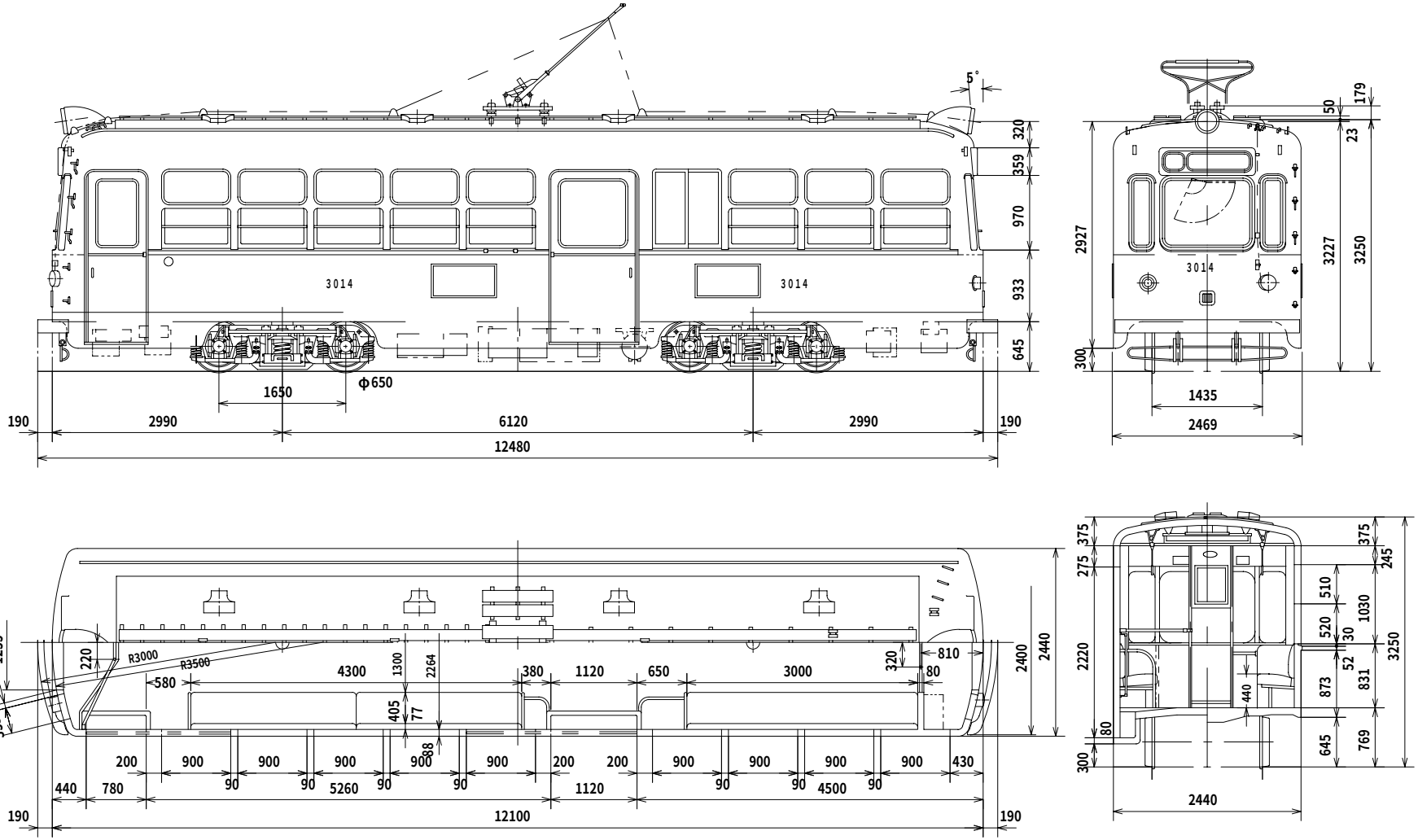
大阪市電　3001形　形式図

1956年、大挙50輌が登場した高級路面電車
先行試作車№3000の量産化で、新方式駆動装置の大量採用や、平坦線ながら、マグネットブレーキの装備など、優れた性能をもっている
図はFS252台車をつけた№3001～30を示した
塗色は上半分ピンク、下半分マルーンの塗り分けである
なお図のメーカーはナニワ工機と帝国車両、№3031～50が日立製でKL7台車付である